

看護管理 第6巻 総目次

1996年(1~12号)

(表示は、筆者名：題名，号数，開始ページ.)

【特集】

看護ケアの質改善と評価(1号)

- 島田陽子：看護ケア評価の経緯と今後の課題，1，4.
高嶋妙子：看護ケアの質向上・改善の取り組み—聖隷浜松病院の場合，1，10.
福井晶子：看護ケアの質向上・改善の取り組み—ガラシア病院の場合，1，16.
山脇薫子：看護ケアの質向上・改善の取り組み—日野病院の場合，1，21.

固定チームナースング(継続受持ち方式)の展開(固定チームナースング研究会第2回研究集会より)(2号)

- 西元勝子・杉野元子・安部陽子：固定チームナースングの導入時の考え方—小集団活動のメリットを生かして，2，78.
村上厚子・他：固定チームナースングにおける継続受持ちの実践，2，84.
上村笑：チーム分けとチームリーダーの役割，2，89.
工藤好子：チーム目標の設定とチーム活動，2，92.
佐々木博子：スタッフ育成(学生指導を含む)—組織づくりと運用の実践，2，96.
高橋ハツエ：スタッフ育成(学生指導を含む)—組織づくりと運用の実践，2，101.
門脇章子・他：カンファレンス(申し送りを含む)の改善，2，104.
大林末子：看護記録，2，108.
小林達子：他職種との協働—医師，助手，勤労学生，ボランティア，その他を巻き込んだチームづくり，2，111.
去来川節子：婦長の役割—方針，意思決定，サポート，2，115.
藤井淑子：緊急時におけるチーム活動—災害時における看護活動，2，118.
三崎正子：導入時の取り組み，2，119.

阪神・淡路大震災から1年—看護界の対応をみる(3号)

- 柳生敏子：看護に求められたもの，看護が求めたものの，3，152.
財津秀子・他：学生とともに震災を乗り越えて，3，158.
谷口昌子：震災後の保健活動，3，166.
榎原弥栄子：(インタビュー)“将来に目を向けていく”，3，172.
高口榮子：看護職のPTSD—雲仙普賢岳長期災害と

看護管理，3，174.

[関連記事]

- 第100回医学書院看護学セミナーより
新道幸恵・三島敦子・杉野元子：阪神・淡路大震災に学ぶ—看護管理者が得たもの，3，182.

看護部がつくる病棟の環境(4号)

- 井部俊子・寛淳夫：(対談)機能性から快適性へ—病院建築とQOL，4，226.
酢屋ユリ子：(インタビュー)システム志向と人間愛をもって，4，235.
国立東京第二病院：看護部が考案した床頭台，4，242.
辻野純徳：病棟づくりに参加するための看護部への提言，4，244.
田辺峰雄：建築家が看護部に求めるもの，4，249.
富永純男：ハード面を生かすのは看護部の役目，4，253.
加納佳代子：採光の看護管理，4，258.
服部俊子・上原和夫：ICUにおける音環境の改善—病棟のサウンドスケープ，4，264.

二交替制勤務と管理者の課題(5号)

- 大水美名子：全員が参加した勤務体制改革，5，300.
能瀬玲子：すでに定着している当院の二交替制，5，307.
市川幾恵：リーダーシップは変化の原動力—管理者の推進力で定着した二交替制，5，313.
遠山千恵子：スタッフ全員の経験に支えられて—段階的な勤務体制改革，5，320.
鶴飼昭子・他：責任ある看護ケアの提供をめざして，5，326.

[関連記事]

- 岡田君子：変則三交替制勤務定着の経過—病院開設から職員の意欲向上まで，5，331.

看護診断導入により変わったこと(6号)

- 数間恵子：看護支援のフォーカス(看護診断)をどのように考えるか，6，370.
菊地登喜子：適切なケア提供とキャリア発展に向けて，6，377.
石山良子：自発的活動がもたらした変革，6，383.
大森綏子：患者中心の看護のあり方を再認識，6，388.
黒田裕子：看護記録から見た看護診断の問題点と対

策, 6, 394.

松浦真理子・他：(調査報告)看護診断を導入している病院施設における管理体制の実態に関する一考察, 6, 402.

川島みどり：患者の全体像を捉える目と臨床判断能力のトレーニングを, 6, 407.

看護診断導入は看護記録を変えたか(7号)

菊地登喜子・他：オレムのセルフケア不足理論に基づく看護診断過程を記録に, 7, 442.

松浦真理子：「患者が見える, 看護実践が見える」看護記録に, 7, 449.

末田美保・他：看護過程の展開にふさわしい記録づくりの試み, 7, 458.

古橋洋子：看護記録充実に向けて今すべきこと, 7, 465.

抑制をしない看護(8号)

上川病院：(グラフ)縛らない看護を広めたい, 8, 522.

岡田玲一郎・田中とも江：(対談)縛らない看護の実現を, 8, 526.

齊藤正身：抑制の徹底廃止をめざして一ワークショップの活用から, 8, 535.

矢田チエ子・他：抑制は職員と看護管理者の姿勢次第, 8, 541.

CNS/専門看護師の教育—クリニカル・トレーニングに焦点をあてて(第28回聖路加看護大学公開講座より)(9号)

Judith B. Krauss：イェール大学看護学部における修士課程プログラムとクリニカル・トレーニング, 9, 607.

Cho-Ja Kim：延世大学看護学部における修士課程プログラムとクリニカル・トレーニング, 9, 623.

小島操子：聖路加看護大学大学院修士課程の教育内容, 9, 631.

岩井郁子：聖路加看護大学と聖路加国際病院のユニフィケーション, 9, 634.

松岡恵・斉院由紀子・中村めぐみ・Cho-Ja Kim：(パネルディスカッション)修士課程におけるクリニカル・トレーニング, 9, 638.

緩和ケア病棟における看護管理上の悩み(10号)

大内裕子・他(淀川キリスト教病院)：社会の期待や変化に応じたホスピスケアの追求, 10, 686.

沖原由美子(聖隷三方原病院)：ホスピスケアのための環境づくり—看護提供方式の変更と教育への取り組み, 10, 689.

金井昱子(救世軍清瀬病院)：緩和ケア病棟のあり方を考える—専門看護師の誕生に向けて, 10, 692.

清水千世(坪井病院)：フォローアップ体制構築の環

境づくり, 10, 696.

今井サチ子(上尾甕生病院)：院内スタッフとの相互理解を深める—院内併設型ホスピス病棟の課題, 10, 699.

丸口ミサエ(国立がんセンター東病院)：看護体制と病棟における教育の現状と課題, 10, 702.

中林みつ枝・他(富山県立中央病院)：看護婦が主体的に行動するために, 10, 705.

阿部カズ子(長岡西病院)：徹底した患者中心のケアをめざして, 10, 708.

小林三希子(東札幌病院)：緩和ケアにおけるプライマリ・ナーシングの課題, 10, 711.

松島たつ子(ピースハウス)：独立型ホスピスが直面する課題, 10, 714.

藤川孝子(国立療養所西群馬病院)：看護体制と教育の充実に向けて, 10, 717.

泉キリ江・他(イエズスの聖心病院)：患者・家族へのケアを通して自分自身を知る, 10, 720.

森田美和子(済生会金沢病院)：緩和ケアに適した看護体制の模索, 10, 723.

後輩を育てる—臨床的教育的環境を整えよう(11号)

大島弓子：学生は失敗で成長する—不安と緊張が引き起こす失敗の数々, 11, 766.

八木彌生：実習による学生の変化と成長, 11, 770.

鈴木伸男：実習病院の実情—鶴岡市立荘内病院の場合, 11, 775.

小谷英子：実習施設としての病院の変化—学生から教えられた看護, 11, 780.

宮城恵里子：学生と関わって見えたこと—実習指導者となって自分はどうか変わったか, 11, 785.

安酸史子：授業としての臨地実習—学生の経験を教材化する力をつけるために, 11, 790.

[特集資料]

看護婦等養成所の運営に関する指導要領について〈抜粋〉, 11, 794.

看護婦等養成所の運営に関する手引きについて〈抜粋〉, 11, 795.

婦長登用の基準と条件(12号)

石垣靖子：「組織分化を担う人」としての婦長に期待, 12, 852.

山崎絆：公募方式による婦長登用, 12, 856.

青木孝子：推薦制の実施と人格評価に重点をおく, 12, 860.

飯豊祥子：婦長の人事交流と視野の広がり—市統一試験と研修の成果, 12, 865.

[関連論文]

中山洋子・他：(研究報告)病院管理や経営に看護婦が関わることの意味とその影響, 12, 870.

【特別論文】

- 危機管理—緊急時に対する看護としての備え(兵庫県立看護大学第2回国際セミナーより), 9, 648.
Hanna Admi: 大規模災害への備え, 9, 649.
兵庫県立看護大学国際交流委員会仮想防災計画案作成班: 災害に対する備え—必要な資源・組織, 教育・訓練, 9, 656.
加藤和子: 看護婦の労働環境にみる科学的管理—(その1)看護提供方式と看護実践の視覚から, 11, 810.
加藤和子: 看護婦の労働環境にみる科学的管理—(その2)看護提供方式による臨床現場実態の相違, 12, 881.

【特別記事】

- 小島通代: 保健婦助産婦看護婦法における看護業務と医師の指示との関係の検討, 3, 192.
野村陽子: (インタビュー)1996年診療報酬改定のポイント, 6, 412.
草刈淳子: 新たな視点からの看護職の法的位置づけの論議の必要性, 7, 472.
二本立: 公的介護保険と看護, 9, 600.

【調査研究】

- 小宅比佐子・三木喜美子: 外部講師による研究指導の効果—(その1)アンケート調査, 1, 46.
尾崎章子・他: 外来糖尿病患者に対するプライマリ・ナーシングとその評価—社会保険船橋中央病院の例, 1, 52.
三木喜美子・小宅比佐子: 外部講師による研究指導の効果—(その2)面接調査, 2, 126.
田中満由美・他: 「針刺し事故」の実態と対策, 4, 272.
仲村和子・他: 看護婦の職務満足度と配置部署との関係—人事管理に重要な要因の一考察, 6, 418.
高松満里・他: 看護婦のアサーティブコミュニケーション度向上のための取り組みと課題, 7, 478.
澤田和美・他: 看護婦の勤務体制が患者に及ぼす影響, 8, 572.
菅田勝也・他: 看護における機器の開発と普及の現状・課題—(その1)機器の利用状況, 10, 742.
菅田勝也・他: 看護における機器の開発と普及の現状・課題(その2)開発・普及の課題, 11, 834.
板垣恵子・他: 臨地実習指導者の指導に関する検討, 12, 888.
PL病院看護部: 主任研修の改革がもたらしたもの, 12, 895.
丹波治子: 看護管理としての看護助手育成—生き生きとした看護助手集団づくり, 12, 900.

【対談 紙屋克子】

- 住吉蝶子: 看護管理者へのメッセージ, 1, 26.

- 水間摩遊美: いのちの体験から Social Action へ, 5, 340.
野田療: 医療に対する芸術の新しい貢献, 8, 546.

【そこが知りたい】

- (匿名): 看護婦不足は解消したか?, 3, 198.
松本フヂ子: 新看護・補助体系は現場の何を変えたのか?, 5, 350.
(匿名): 看護の経済性—病院経営と看護要員, 10, 748.

【Management に役だつ海外文献】

- 長友みゆき: 効果的なリーダーシップがもたらす効果, 3, 204.
草刈淳子: 変化に対応する看護実践と教育を, 5, 356.
長友みゆき: 保健医療供給システムの改革戦略, 8, 580.
森仁実・他: 看護職の役割拡大を成功させるために, 10, 754.
草刈淳子: 患者の自立を促す援助者のあり方, 12, 904.

【海外文献紹介】

- 千葉大学大学院生翻訳, 草刈淳子監訳, K. Buhler—Wilkerson 著: アメリカにおける在宅ケア: 歴史的分析, 1, 36.

【Book Review】

- 安藤富子評: 『看護管理覚え書』, 1, 44.
岡本悦司評: 『日本の医療費』, 2, 124.
宮本昭子評: 『ひと言でつづる看護のこころ』, 2, 125.
神戸大学医学部附属病院看護部平成6年度教育委員会評: 『院内研修を成功させるスキル』, 3, 206.
粕田孝行評: 『精神科看護リーダーシップ』, 4, 279.
柴田恭亮評: 『POSにもとづく看護診断と標準看護計画』, 5, 355.
松原まなみ評: 『学生とともに創る臨床実習指導ワークブック』, 6, 417.
木下由美子評: 『外来プライマリナーシング』, 7, 477.
宇佐美しおり評: 『精神科看護—看護診断とケアプラン』, 8, 579.
洵江七海子評: 『臨床看護研究の進歩 VOL.7』, 9, 647.
服部律子評: 『看護することの哲学—看護臨床の身体関係論』, 10, 753.

【かれんと】

- 汐見稔幸: 子どもの“攻撃欲求”, 1, 1.
: 男の家事, 2, 75.

：「患者の権利」宣言，3，149.

古茂田宏：滅びる種族，4，223.

：生者の都市と死者の都市，5，297.

：車中の憂鬱，6，367.

森下直貴：大学生と幼児の間，7，439.

：「らしさ」をめぐるセンス，8，519.

：クルマ依存症，9，597.

寺田元一：「対岸の火事」も火事！，10，681.

：「浜辺はみんなのものだ」，11，763.

：寅さんが旅立った後で，12，849.

【看護経済学—看護サービスの経済評価】

金井 Pak 雅子，安川文朗，角田由佳：

①米国の医療費にみる看護料金，1，60.

②婦長は「病棟経営者」，2，134.

③看護の経済的価値とその評価，3，208.

④ Ambulatory care における看護サービス，4，280.

⑤米国の home care の実態に見る日本の在宅看護の課題，5，358.

⑥看護における生産性を高めるために，6，424.

⑦医療経済からみた看護（1）看護の技術とその評価，7，500.

⑧医療経済からみた看護（2）看護サービスの質と価格，8，582.

⑨看護サービスと看護婦の労働力経済学の視点から，9，666.

⑩看護料金の設定に関する各国調査（1），10，756.

⑪看護料金の設定に関する各国調査（2），11，842.

⑫求められる看護経済学の活用，12，908.

【人間として，医療人として—東海大「安楽死」事件はわれわれに何を教えたか】

奥野善彦：

①事件の概要とその背景にあるもの，1，66.

②末期医療の現場での誤ったインフォームド・コンセント観，2，140.

③看護者たちの逡巡，3，214.

④続・看護者たちの逡巡，4，286.

⑤白い巨塔—大学病院の事故であった「安楽死」事件，

6，430.

⑥クオリティ・オブ・ライフ—その時ブライマリ・ナースがなすべきことは？，7，506.

⑦医学教育の見直しが迫られている，8，587.

⑧「安楽死」事件が問う医療人の倫理，9，672.

【老人に対する看護技術研究】

数間恵子・川村佐和子・諏訪さゆり・牛久保美津子・小泉恵・砂村由有子・川島みどり・村井貞子：

①老人訪問看護技術の特徴と発展の要件—熟練看護婦に対する面接調査から，7，486.

②訪問看護サービスの整備課題—訪問看護技術教育と医師との連携，7，492.

③ターミナル状態者の在宅療養における訪問看護の実態と課題—（その1）提供看護技術・時間と，医師との連携に関する分析，8，556.

④訪問看護におけるプロトコル作成のための基礎的研究，8，564.

⑤ターミナル状態者の在宅療養における訪問看護の実態と課題—（その2）在宅療養支援における看護報酬に関する分析，10，726.

⑥ターミナル状態者の在宅療養における訪問看護の実態と課題—（その3）提供した看護に対する療養者・家族の満足に関する分析，10，734.

⑦在宅療養支援における看護と介護の連携に関する研究—問題解決思考過程の相違の分析，11，818.

⑧「在宅看護における感染予防に関する指針」作製の基礎的研究，11，827.

【懸賞論文 私たちの安全・安楽の工夫】

川島みどり・西元勝子：審査結果発表および講評，10，684.

金平由紀子・他：スピードトラック牽引用具の考案作製，11，796.

横山幸代・他：新生児・乳児の麻酔導入における乳首付きマスクの考案，11，801.

青木光子・他：食事台の工夫・改良，11，804.

高橋晴美：「より安全な杖立て」の工夫，11，807.